

# 与論町立与論小学校 ～与論の十五夜踊伝承活動の取組～



1561（永禄4）年に、当時の与論城主が、島内・琉球・大和の芸能を学ばせ、当時の島の娯楽として始めたもの。旧暦3月・8月・10月の十五夜に行われる。与論の十五夜踊は本来世襲制で行われていたが、少子化の影響もあり、現在はその限りではなく、教育委員会や町と協力しながら伝承・保存に努めている。その事業の一環として現在は与論小学校の児童に、二番組・一番組双方の踊りを伝承する活動を行い、後継者育成に努めている。

学校では、「総合的な学習の時間」を使い、与論十五夜踊保存会の踊り子に直々に指導を受けている。学校の運動会で発表することで、地域の方々に披露する機会も設けている。